

議会報告会報告書

令和5年9月6日

小田原市議会議長
大川 裕 様

報告者 議会広報広聴常任委員長
角田 真美

議会報告会（議場見学会）の結果について、次のとおり報告いたします。

日 時	令和5年7月3日（月曜日）午前9時30分 ～ 午前10時35分			
場 所	小田原市役所 議場			
出席者	角田 真美	池田 彩乃	島田 佐和子	栗畑 寿一朗
	鈴木 和宏	中野 正幸	稲永 朝美	大川 晋作
参加人数	37名（山王小学校6年生児童34名、担任教諭3名）			
内容	<p>小田原市議会基本条例では、市民の意見を議会の審議や政策立案に生かすため、議会報告会や市民アンケートのほか、多様な媒体を活用し、広報広聴の充実を図るものと定められています。</p> <p>そのような中、これまで要望に応じて対応を行ってきた議場見学会は、議会報告会と同様に議会活動の報告という広報の面と、意見交換による広聴の面があることから、令和3年度からは議会報告会の一つの形として以下のとおり実施しました。</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none">・市議会議員から児童に対し、市議会や議場に関する説明・議長室や傍聴席といった、議場以外の施設の見学・議員に対する質疑応答			
主な質疑・意見等	裏面参照			
その他				

<主な質疑等について>

<p>【質疑】 子ども達や親が安心して公園で遊ぶことができる環境づくりが、少子高齢化対策になると思いますが、どのように考えますか</p>
<p>【回答】 私も歩いて行ける公園を魅力的にしていけることが対策になると思い、議場で質問したこともあります。今、住んでいるところで高齢になるまで過ごせるよう考えていきたいと思います</p>
<p>【質疑】 昔と今とでは話し合う議題は違いますか</p>
<p>【回答】 基本的には同じだと思います。ただ小学校でも1人1台のタブレット教育が始まっていますが、「デジタル」という新しい課題も出てきています</p>
<p>【質疑】 議長のところに来るお客様はどういう方ですか</p>
<p>【回答】 他の市区町村の議会関係者や、企業の方々などです</p>
<p>【質疑】 なぜ議員になったのですか</p>
<p>【回答】 小学校6年生のとき、地元の国会議員が国会議事堂を案内してくれた際、一般公開していない所まで見せてくれましたが、その時の話に感銘を受け、自分も将来議員になりたいと思いました</p>
<p>【質疑】 会議の時間はどれくらいですか</p>
<p>【回答】 内容によって30分程度で終わるときや、朝から始めて夜まで話し合うときもあるなど、会議によっていろいろです。しかし、色々な意見をぶつけることが大事です</p>
<p>【質疑】 どのようなときにやりがいを感じますか</p>
<p>【回答】 道路の修繕やカーブミラーの設置などで、市民の皆さんが安心でき、笑顔になっていただいたときに喜びを感じます</p>
<p>【質疑】 なぜ議会は公開するのですか</p>
<p>【回答】 市民の皆さんに納得していただくために、議会での話し合いを公開しています</p>
<p>【質疑】 小田原市内の医療体制をどう思いますか</p>
<p>【回答】 市内にはたくさんの医療機関がありますが、医療従事者の人数が神奈川県内で少ないことが課題です。解決するには、仕事に見合った給与を支払うなど国や県と連携しながら対応していく必要があります</p>
<p>【質疑】 よりよい小田原にするためにはどうしたらよいですか</p>
<p>【回答】 まずは皆さん一人一人がどうしたら小田原がよくなるのか考えていくこと。選挙権を手にしたら、小田原をよくしてくれそうな人に投票し、その仕事をチェックすること。自分が議員になる手もあります</p>
<p>【質疑】 これまでに難しい問題が議会でとりあげられましたか</p>
<p>【回答】 南足柄市との合併や市立病院の建替えなどがとりあげられました</p>